

県立大館国際情報学院

高校は進路や適性でコース選択

高校は、普通科2学級、国際情報科3学級を設けます。2年次からは、普通科は3コース(国際コース、文系コース、理系コース)、国際情報科は4コース(流通コース、経済コース、会計コース、情報コース)の中から、自分の進路や特性に基づきコースを選択し、進路の実現を目指します。

入学するには

中学校への入学

東北地区の小学校を平成17年3月に卒業する児童現在の6年生)から出願することができます。面接、作文、適性検査(集団活動)及び報告書により入学者を決定する予定です。募集人員は80人を予定しています。

高等学校への入学

17年3月に中学校を卒業する生徒(現在の3年生)から出願することができます(併設の中学校からは、選抜なしで入学できます)。入学者の選抜は、「秋田県公立高等学校入学者選抜実施要綱」に準じて行います。

募集人員は、普通科80人、国際情報科120人の計200人を予定しています。

今後のスケジュール

16年9月～10月

- ・中学校募集公告
- ・高等学校募集公告
- ・中学校入学者選抜実施要綱説明会

12月

- ・中学校入学出願受け付け

校章図案、校歌歌詞募集

県立大館国際情報学院の校章図案と校歌歌詞を募集します。

応募方法

1人で何点でも応募できます。住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、郵送が直接お持ちください。校章図案はハガキ判で、着色する場合は3色以内。校歌歌詞は、中学生と高校生が一緒に歌えるようなわかりやすくはつきりとしたものを、A4判横の用紙に縦書きにしてください。

作品の説明も付けてください。賞(図案、歌詞共に)

入選作には5万円を贈呈します。締め切り・8月25日(水)消印有効応募・問い合わせ先

〒017 0872

大館市片山町3丁目10 16

県立大館国際情報学院
設準備班
☎43 0955



雇用創出に向けて

市長リポート

No 261

来春卒業する高校生の求人受け付けが6月20日から始まっています。高校生の地元就職率を高めるためには、企業に積極的に採用してもらうことが不可欠です。市では、地元で就職するかたが増えることが、市勢発展の基礎になるものと考え、その願いがかなえられるような環境づくりに努めています。7月13日には、大館商工会議所を始め、あきた北農業協同組合、ニユーロング株式会社大館工場、株式会社木村食品工業、ニプロ株式会社といった地元企業や誘致企業5社を訪問し、高校生の求人をお願いしてきました。

雇用には2種類があります。一つは一定量の雇用、つまり、定年などで退職するかたを補う雇用です。もう一つは経営規模の拡大や誘致企業の操業開始などによる新規雇用です。雇用を拡大するためには、後者の新規雇用を増やしていくことが大切です。そのため、地元企業にも誘致企業に対しても、市としてできる限りのサポートをしています。結果、大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場は、毎年一定数増加しています。

さて、地産地消という、地元で作った農作物を地元で消費するという考え方がありますが、これは何も、農作物に限ったことではありません。大館の企業が作った物を購入したり、大館の企業からサービスを得たりすることも地産地消です。私たちが進んで大館産品の地産地消をすること、その良さを全国にPRしていくことが企業の発展につながり、雇用を拡大し、ひいては地元就職率を高めることとなります。

地産地消が地域発展のキーワードです。みんなで心をつなげて、雇用創出に向け、地元企業・誘致企業を応援していきましょう。

小畑 元